

ー 目標Ⅰ. みなとの静穏度と安全性の向上に向けた技術開発 ー

●港湾の新しい姿を実現するための先駆的取り組み

1. 長周期波対策技術の開発

～ 港湾内の長周期波の予測手法の開発と船舶係留方法の改善 ～

■開発の背景

管内の港湾は多くが外洋に面しており、冬季風浪や台風、暴風などにより荷役効率が著しく低下している現状にあります。

また、長周期波により係船索切断等の発生も加わり、荷役障害が生じています。

■開発の目的

長周期波の影響を受ける荷役障害の解消（静穏度と安全性の向上）

■開発イメージ



■開発の目標

荷役稼働率の向上

■開発項目

- 長周期波出現特性の解析
- 港外・港内における長周期波予測手法の検討
- 長周期波対策マニュアルの作成、長周期波対策技術の開発
- 船体動揺対策（岸壁係船システム）の検討
- 長周期波予測システムの構築
- 港全体の静穏度化技術の検討